

産学官

報道機関

市民団体

震災教訓集約 共同で発信



防災啓発に向けて連携を確認した円卓会議

みやぎ防災円卓会議 発足

いのちの地を守るとをる

東日本大震災後の防災啓発に取り組む連携組織「みやぎ防災・減災円卓会議」が24日、発足した。宮城県内の産学官と報道機関、市民団体などの防災関係者が研究や活動を共有。震災教訓の集約や啓発の継続に向けた基盤づくりを目指す。仙台市青葉区の河北新報社であった設立会合には45団体、約70人の登録メンバーが出席。3月に同市であった国連防災世界会議の成果を引き継ぎ、被災地か

らの防災・減災発信の強化に協力して当たることを確認した。

河北新報社防災・減災プロジェクト委員会と会議設立を呼び掛けた東北大災害科学国際研究所の今村文彦所長は「防災・減災まちづくりの推進や他地域への啓発に向け、東北、宮城でやるべきことは多い。一つ一つ具体化していこう」とあいさつした。

円卓会議には仙台近郊の主要大学の研究者、NPO法人や町内会組織の代表、宮城県や仙台市、東北地方整備局の防災担当、経済団体の幹部、主要報道機関の責任者らが登録。当面は個人資格で参加する緩やかな任意組織として活動する。事務局は河北新報社に置き、定期的に情報交換と勉強会を開く。教訓を伝え継ぐ組織が活動する阪神大震災や新潟県中越地震被災地

の事例を学び、同様の組織の必要性も議論する。東北大災害研が学内と市民向けに月1回開く「金曜フォーラム」と連動し、年に数回、市民公開の勉強会も開く予定。

円卓会議の連絡先は事務局メール entaku@pokahoku.co.jp 金曜フォーラムの案内は東北大災害研のホームページ参照、連絡先は forum@irides.tohoku.ac.jp